

## 武儀地域振興計画とは

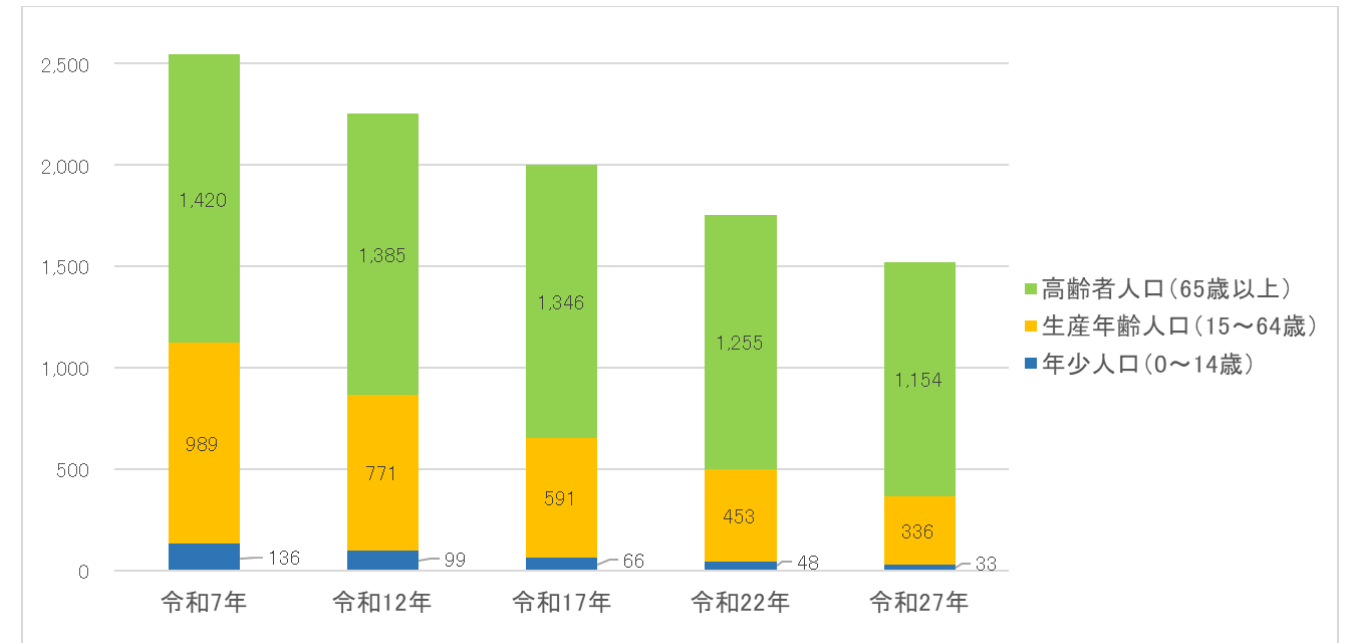
●今後、少子高齢化がさらに進み、地域活力が年々低下することが考えられます。そこで、このような武儀の将来に備えて、住民が主体となった共助の組織（NPO 法人日本平成村）を活かし、住民が力を合わせて「ぜひおいで 良い仲間たち いなか町」を実現するために、「武儀地域振興計画」をつくりました。地域住民参加による住民アンケート、団体ヒアリング、武儀がやがや会議等を通して「地域課題」を洗い出し、その課題の解決策をまとめました。

「武儀地域振興計画」は、  
いつまでも武儀で安心して暮らし続けられるように、  
多様な団体や住民が力を合わせて行う地域づくりの活動計画です

- 計画の内容 武儀地域振興計画は、地域課題を解決するために実行すべき住民主体の活動や武儀の将来像を記載しました。
- 計画の期間 令和6年4月1日から令和16年3月31日までの10年間
- 実施主体 NPO法人日本平成村が中心となり、各種団体や地域住民と連携して地域づくりを実行します。

## 武儀の将来人口推計

- 武儀の人口は、令和6年1月現在で2,779人ですが、年々減少することが予想されます。
- 年少人口および生産年齢人口は、令和17年に現在の約半数になることが予想されます。
- 20年後は、地域住民の4分の3が高齢者となることが予想されます。



## 計画策定にあたって実施したこと

### ①武儀地域づくりアンケートの実施

武儀地域の課題を抽出するために、武儀地域に在住する中学生以上の住民を対象にアンケートを実施しました。  
調査期間: 令和5年3月1日から3月20日まで 有効回収数: 880通 (回収率33.9%)

### ②武儀がやがや会議の実施

武儀地域づくりアンケートの結果を発表すると共に、武儀地域の「課題」と「課題を解決するアイデア」について話し合いました。  
開催日時: 令和5年9月1日 19時から20時30分 開催場所: 武儀生涯学習センター多目的ホール 参加人数: 37人

### ③「ミライの武儀を語る会」(団体ヒアリング)の実施

地域で活動をしている団体は、どんなことを課題と捉え、どんな地域活性化のアイデアを持っているのか、話をお聞きしました。  
開催期間: 令和5年10月12日~10月31日 開催場所: 武儀生涯学習センター多目的ホール 対象団体: 45団体

### ④津保川中学校ワークショップ「日本平成村の新しいキャッチコピーを考えよう」の実施

新たな10年の地域振興計画を策定するにあたって、武儀地域の新たな「キャッチコピー」を津保川中学校の生徒たちに考えてもらいました。  
開催日: 令和5年11月21日 参加者: 津保川中学校1年生から3年生 新たなキャッチコピー「ぜひおいで 良い仲間たち いなか町」



重点課題まとめ

地域づくりアンケート、武儀がやがや会議、ミライの武儀を語る会(団体ヒアリング)等を通じて抽出された「武儀の課題」は下記の通りです。

No	分類	課題
1	観光・交流	道の駅、しあわせの氣の森が十分に活用されていない
2	観光・交流	NPO が企画するイベントが少ない
3	観光・交流	旧武儀西小学校が活用されていない
4	健康・スポーツ	スポーツ大会が少ない
5	健康・スポーツ	スポ少などに子供が集まらず、親にも負担が
6	高齢者支援	高齢者が参加できるイベントが少ない
7	高齢者支援	高齢者世帯が情報を得る手段が限定的
8	子育て支援	子供の減少
9	自然環境保全	地域美化、景観活動(草刈り、津保川の清掃)
10	自然環境保全	ストックヤードが増えてきている
11	集落維持	若い世代の誘致
12	集落維持	世代による感覚の違い
13	集落維持	地域に残っている人への負担
14	集落維持	若い人が出ていく
15	集落維持	役が何度もまわってくる(役員の数が増えない)
16	集落維持	行事が多い
17	商工業	補助金などがあっても農業で儲けるのが難しい
18	商工業	通勤、働くところが無い
19	商工業	組織の高齢化、後継者問題
20	生活環境	空き家対策

No	分類	課題
21	生活環境	高校から武儀をつなぐ公共交通
22	生活環境	バスの本数が少ない
23	生活環境	運転をしなくなった際の不安
24	生活環境	ガソリンスタンドが将来的になくなる
25	生活環境	公園がない
26	生活環境	ケーブルテレビ、地デジ、光回線など地区によっては非対応
27	農地の有効活用	土地の管理
28	農地の有効活用	米の生産者、収穫できる人の減少
29	農地の有効活用	休耕田、荒れた農地
30	林業の活性化	山林の管理
31	林業の活性化	椎茸産業の衰退
32	林業の活性化	木材の需要減少、森林整備の衰退
33	防犯・防災	夏の大雨の防災
34	防犯・防災	消防団の人員確保
35	防犯・防災	避難場所までの距離、避難場所の少なさ
36	特産品の販売	野菜の販売が減少
37	有害鳥獣害対策	獣害による野菜被害
38	その他	組織や団体が多く複雑



主要課題が明確化されました。これらの課題を解決することで武儀地域は良くなります。

これらの課題を解決するために「これまでの10年間に実施してきたこと」を振り返り、実施事業の継続の有無を精査しました。

また、これからの10年で「新たに取り組むこと」を選定しました。

これまでの10年間で実施してきたこと&新たに取り組むこと

【生涯学習委員会】情報と人が行き交う いなかまち

事業名	実施してきたこと	継続の有無	備考
①NPO 通信「日本平成村」発行	2024年3月号の時点で204号まで発行	継続	
②情報基地「武儀」の設置と運営	日本平成村公式HP、ブログ、X、LINEによる情報発信を実施	継続	
③多世代交流サロンの運営	武儀町内在住の高齢者を対象としたふれあいサロンを実施	継続	
④武儀のむかし話「伝説ロマンウォークの会」運営	伝説ロマンウォークの会の支援、HP管理、イベントの宣伝などを実施	継続	
⑤「ムーンライトコンサート in 高澤」開催支援	運営費の一部を助成、チケット販売、イベント告知を実施	継続	
⑥「スポーツの仲間づくり」支援	申請者に対して資金援助を実施	継続	
⑦「青少年健全育成協議会」支援	運営費の一部を助成。むぎのつどいを通信に掲載	継続	
⑧成人式 集合写真プレゼント	集合写真プレゼント。NPOのLINE案内送付、HPで写真公開(パスワード制)	継続	令和5年からWEB配信に切り替え。
⑨武儀人材バンクの設置と活用(講座の開催)	武儀の住民が講師となり講座を開催(新そば作り教室、えひめAIを作ろうなど)	見直し	講座の開催のみで継続していく。

<新たに取り組むこと>

SNSを活用した武儀の情報発信強化	高齢者がパソコンやスマートフォン等を使えるようになる講座の企画	しあわせの架け橋短歌大会の実施、武儀の文化継承事業
武儀生涯学習センターにて地元先生による子ども向けの習い事開催	武儀生涯学習センターにてスポーツ大会企画	子どもが主役になれるイベントの企画

【産業経済委員会】地域の力を創り出す いなかまち

事業名	事業実績	継続の有無	備考
①武儀のイベント開催(復活!サマーフェスタなど)	道の駅や八滝ウッディランドなどで夏祭りや、秋祭りを実施	継続	
②津保川花火大会・津保川産業祭の支援	金銭的な支援、シャトルバス運行を実施	継続	
③武儀体験プログラムの検討	ロケットストーブ作成講座、五平餅作り体験などを実施	継続	
④「しあわせの気の森」の活用	草刈りを実施。パワースポットコースを利用したウォーキングイベントを実施	継続	
⑤農業の支援	コスモスの種子を支援	見直し	十分な取り組みに至らず。取り組みを見直す。
⑥林業の支援	話し合いを行ったが実施には至らず	見直し	十分な取り組みに至らず。取り組みを見直す。

<新たに取り組むこと>

新たな特産品の企画開発	特産品生産者への支援(生産、広報など)	武儀生涯学習センターを活用した朝市等の開催
武儀の新たな観光マップ・観光パッケージの作成	津保川を活用したサイクリングロード等の企画	農機具の不用品交換会企画
武儀の草刈り隊結成。草刈り支援、草刈り機貸し出し、講習会の実施	耕作放棄地・休耕地の活用および生産者への貸し出し支援	武儀の森林資源の見える化、林業の魅力発信

【生活安全委員会】安心がつながる いなかまち

事業名	事業実績	継続の有無	備考
①武儀のみまわり隊によるパトロール	専用のポロシャツやジャンパーを作成し、見守り活動を実施	継続	
②見守り隊をつくろう(高齢者世帯の見守り)	巡回バス、有償運送時に見回りを実施。世帯カードの作成	継続	
③便利な地域内バス運行	バス停の設置を実施	移行	事務局事業へ移行
④人の力を伸ばして生かそう(サポーター養成など)	AED、CPR(心肺蘇生法)、三角巾、講習会。認知症サポーター養成講座開催	見直し	企画内容や広報手段を見直す
⑤要援護者家庭の除雪、通学路の除雪	降雪時、歩道中心に除雪を実施	継続	
⑥ササユリ保護育成会の支援	活動資金を支援。ささゆり祭りの取材を実施	継続	

<新たに取り組むこと>

空き家の把握、空き家の活用支援	移住希望者等への地域内紹介、移住お試し住宅の整備・管理運営	多世代が集まれる居場所の創出
-----------------	-------------------------------	----------------

【保健福祉委員会】すくすく、いきいき元気が続く いなかまち

事業名	事業実績	継続の有無	備考
①むぎファミリーサポート事業	むぎっこ eco プロジェクト、はぴはぴお下がり譲渡会。日本平成村通信に赤ちゃん紹介	継続	
②いなかつこクラブ	夏休み期間学習センター内で一般サポーターと共に実施	継続	
③乳幼児学級応援事業	ペンギンクラブの損害保険料の助成、協力	継続	
④買い物支援事業(移動販売事業の可能性調査)	バス停の設置を実施。巡回バス、有償運送の説明会や広報の実施	移行	事務局事業へ移行
⑤ほがらか起業塾	社協の「おしゃべりカフェ」に協力	見直し	

<新たに取り組むこと>

健康サロン・おしゃべりカフェなどの企画	武儀生涯学習センターにて日常的な子どもの学習支援・遊び場づくり	子ども食堂、お年寄り食堂等の企画
---------------------	---------------------------------	------------------

【事務局】交通手段の確保と利用しやすい施設運営

事業名	事業実績	継続の有無	備考
①福祉有償運送事業	要介護者、身体障がい者等に対して、十分な輸送サービスが利用できないと認められる場合に、営利とは認められない対価で車を運行する事業。	継続	今後、ますますの利用者増加が見込まれる
②地域内バス運行業務	武儀地域内バス(デマンドバス)を運行している。津保川バス運営協議会として武儀、上之保地域のデマンドバスの予約受付事務を行っている。	継続	デマンドバスとして継続
③施設管理業務(指定管理受託事業)	関市武儀生涯学習センター、関市立図書館武儀分館、富之保・中之保・下之保グラウンドおよび中之保テニスコートの予約受付事務、管理施設を使用したイベント(クリスマス会等)の企画運営	継続	管理施設を使用したイベントを積極的に開催していく